

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Rotary  | **ガバナー月信** 国際ロータリー第2550地区(栃木) 2019-2020 5月・6月合併号 **Vol.11・12**

(新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、今号を合併号として発行させていただきます)



栃木ロータリークラブの寄付に対して、  
栃木市長より感謝状が授与されました。  
(2019年11月6日 栃木県役所市長室にて)

## がんばろう！栃木県！！

### ロータリアンの力を合わせてこの難局を乗り越えよう！

昨年秋、栃木県を直撃した台風19号による水害は、広範囲にわたって甚大な被害をもたらしました。その際、栃木ロータリークラブにも県内外のロータリークラブより多大なるお見舞金を頂戴しました。ここに深く感謝申し上げます。当クラブでは、頂いたお見舞金に、会員からの寄付金と特別会計からの支出金を足して、栃木市に、災害復興義援金として寄付させて頂きました。

今、栃木県内は、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の非常事態に見舞われ、多くの人たちが困難と闘っています。ワクチンができるまでの長期戦になるかもしれませんが、困難に負けず、なんとか奉仕活動を続けられるよう、ロータリアンの力を合わせてがんばりましょう！

### CONTENTS

● ロータリーの目的・四つのテスト	1	● インフォメーション	9
● 川嶋ガバナーメッセージ	2	● 青少年交換学生の帰国状況 (6月1日現在)	10
● インターシティミーティング報告	3	● ロータリー文庫	10
● 3月・4月会員増強・出席報告	7	● コーディネーターNEWS	11
● ガバナーノミニエー・デジグネート確定宣言	8	● ハイライトよねやま	13
● 新入会員	8	● あとがき	14
● 物故会員	9		



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0826宇都宮市西原町142 宇都宮グランドホテル内 TEL.028-651-2550 FAX.028-651-2551  
e-mail : m2550@agate.plala.or.jp URL : http://www.rid2550.com/

## ロータリーの目的

### The Object of Rotary

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1** 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2** 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値のあるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3** ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4** 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

## 四つのテスト

### The 4-WAY TEST

#### 言動はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか？**  
ex.顧客に対し、最良の品質・最良の技術を提供しているか？
- 2 みんなに公平か？**  
ex.従業員に対し、安全で快適な職場を提供しているか？
- 3 好意と友情を深めるか？**  
ex.業界において公正かつ誠実であり、同業者とともに手を携え、職業倫理の高揚に努めているか？
- 4 みんなのためになるかどうか？**  
ex.納入業者に対し、公正で友好的な関係を築いているか？

#### 言動はこれに照らしてから行うべし



## 川嶋ガバナーメッセージ



### ごあいさつ

2019-2020年度  
国際ロータリー2550地区 ガバナー  
かわしま ゆきお  
**川嶋 幸雄** 【栃木RC】



この原稿を書いております5月20日現在、栃木県に出ている緊急事態宣言は解除になり、一見すると少しずつ状況は良くなっているように感じられます。しかし、各地では第二波、第三波の懸念が残っています。そのような中で、医療従事者の皆様におかれましては、今もなお緊張感と隣り合わせで医療現場を支えて下さっており、日々頭が下がる思いです。世界に目を向けても、コロナウイルス流行による様々な余波が生まれ続けており、本当の意味での終息に向け、これからの世界で、我々ロータリアンがどうすべきかを真剣に考えなければいけない時であると強く感じております。

昨年、7月にスタートしました、私のガバナーとしてのお役目も最後の月を迎えました。振り返ると、昨年秋の台風19号の被害。年が明けてからのコロナウイルス感染拡大と、我ながら、激動の年度だったと思わざるを得ません。特に、コロナウイルス拡大の影響で後半の行事等がほとんど実施出来ず、皆さまにご迷惑をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。

一方で、7月からのガバナー公式訪問では、全クラブを訪問し2550地区のロータリークラブの現状を知ることが出来、私自身たいへん

勉強になりました。また、どこのクラブでもご歓待頂きましたこと、改めまして御礼申し上げます。

11月の地区大会では、水野RI会長代理をお迎えし、地区内外の多くのロータリアンと我が街栃木市で有意義な時間を過ごせましたことは、皆様のお力添えの賜物です。そして、そのなかで開催した「古澤丈作顕彰碑」の除幕式は、本当に素晴らしい思い出として記憶に残っております。顕彰碑建立にあたっては、地区内の沢山のクラブ、ロータリアンの皆様に多くの寄付をいただき実現できました。本当にありがとうございました。

一年を通し、様々な事業を展開して下さった地区委員会の委員長さまをはじめ委員の皆さま、たいへんお世話になりました。心より御礼申し上げます。

次年度、森本年度もコロナウイルスの影響を受けたスタートとなるかもしれませんが、地区内ロータリアンの皆さまのご協力をお願い致しまして、私の最後のガバナーメッセージしたいと思います。一年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

## インターシティミーティング報告

第2グループ／1月26日（日）

烏山RC・氏家RC・矢板RC・馬頭小川RC・高根沢RC

第2グループガバナー補佐 棚橋 誠一郎

那須烏山市『風月カントリークラブ』に於いて、第2グループIM並びに、烏山RC創立60周年記念祝賀会を開催致しました。

ご来賓として、那須烏山市長 川俣純子様、那須烏山市教育長 田代和義様、栃木県議会議員 三森文徳様、栃木県立烏山高等学校長 坂本浩之様、第2550地区ガバナーノミニー 石田順一様、宇都宮ロータリークラブ会長 町田卓大様のご臨席を賜り、第2グループロータリアン皆様と楽しく有意義な会合となりました。

IMにおいては新入会員紹介及びスピーチ、ア

メリカからの1年交換留学生 Caleb Avery NABORS 君の日本語によるスピーチ、地区補助金協力事業として、烏山高校が今、取り組んでいる『烏山学』の活動実績報告並びに講演を頂きました。

60周年記念事業としては、那須烏山市、古澤文作顕彰会への目録贈呈を行いました。

懇親会では、烏山高校吹奏楽部によるミニコンサートを堪能し、最後に参加者全員で『手につないで』を合唱し会員相互の親睦を深めることができました。



## インターシティミーティング報告

第1グループ／2月9日（日）

大田原RC・黒磯RC・西那須野RC・黒羽RC・大田原中央RC

第1グループガバナー補佐 川永 作衛

2019-2020年度、川嶋ガバナー地区目標6項目を掲げられスタートいたしまして、各クラブ公式訪問、会長幹事会の席では具体的に参考例も提示されて魅力あるクラブ作り等を強調されておられました。各クラブの皆さんができる事から始め、各委員会の行動が活かされ、その行動がクラブの結束力となり、地域社会での人材育成・人道支援に、クラブ活動は国際的にと幅広く活動できます。その活動が未来へつながることを川嶋ガバナーは伝えられました。

5クラブ会長より上期活動報告をいただき、ローターアクト寺崎様より活動報告され第1グ

ループ2019-20年度IMを開催いたしました。

ご来賓と致しまして大田原市長 津久井富雄様のご祝辞を頂戴し、ゲストと致しましてガバナーエレクト森本敬三様からご祝辞を頂き、懇親会の乾杯の発声を第一グループ次期ガバナー補佐 秋間忍様にいただき、親睦を深めるIMとなりました。

会員数148名、参加人数92名。各クラブ会長様のご協力の元、とても有意義な楽しい会を開催することができ心より感謝申し上げますIMご報告と致します。



## インターシティミーティング報告

第3グループ／2月20日（木）

宇都宮RC・宇都宮西RC・宇都宮北RC・宇都宮90RC・宇都宮陽北RC  
宇都宮東RC・宇都宮南RC・宇都宮陽東RC・宇都宮陽南RC・宇都宮さつきRC

第3グループA ガバナー補佐 熊倉 学

第3グループB ガバナー補佐 日下田 真美

去る2月20日、宇都宮東武ホテルグランデにて第3グループA B合同のIMを開催いたしました。

今年度川嶋ガバナーが「古澤丈作顕彰会」を創設し「古澤丈作顕彰碑」建立されたことに因み、「米山記念奨学会」に焦点を当てることにしました。

古澤氏は、RIの中で日本特有の事業である「米山記念奨学会」の設立に最も尽力された方であり、その古澤氏を研究している第一人者・石崎常蔵様（栃木西RC）を招いての講演会を致しました。

当日は栃木TVの取材もあり内外共に知らさ

れ、所期の目標も達せられたことに感謝をしています。

また、懇親会も200名を超える会員のご参加を得、最後は「手に手」の大合唱で盛大裡に終了となりました。

「IM」はガバナー補佐主催の唯一の行事で、10クラブ合同のIMとなりますので、宇都宮90ロータリークラブには準備段階から開催まできめ細かく打ち合わせをさせて頂き大変お世話になりました。

ここに改めて宇都宮90ロータリークラブの会長はじめ皆様、取分け粕谷IM実行委員長には深く感謝を申し上げます。



## インターシティミーティング報告

第7グループ／2月23日（日）

日光RC・鹿沼RC・今市RC・鹿沼東RC・鹿沼中央RC・今市きぬRC

第7グループガバナー補佐 吉原 美男

2020年2月23日（日）日光市今市文化会館大ホールに於いて、今市きぬRCをホストクラブとして、日光RC、鹿沼RC、今市RC、鹿沼東RC、鹿沼中央RCの6クラブ参加による第7グループIMが開催されました。新型コロナの影響がはじめて、各種催し物、会合が中止並びに延期になり始めた中でのIM開催です。翌週開催であれば中止になっていたでしょう。

IMがグループ内最大の行事として行われ、目的は参加されるクラブの交流、会員相互の親睦を図ること、また他クラブの活動内容の情報共有などがあげられます。第一部の研修は、鹿沼市出身の元五輪メダリストの平野早矢香様の記念講演会をプログラムいたしました。地元日光・鹿沼の一般市民の方にも広く声を懸けさせていただきましたが、あいにくのコロナ騒ぎで、出足は思ったほど伸びませんでした。

講演内容は、世界のメダリストに上り詰めた結

果を成し遂げるための、多くの努力と人知れぬ苦勞など、さわやかさの中に秘めた真の強さが伝わる内容でした。演題にも案内された「昨日の自分より一歩前へ」、卓球から本当にたくさんの学びをご自身のものにした素晴らしい女性でした。

後半の本会議においては、点鐘、ロータリーソング斉唱、物故者に黙祷、各クラブ会長によるクラブ活動紹介、各クラブごとに地域の特色ある活動が、よく理解できる内容でした。先日亡くなられた今市RC、片山会長、クラブ紹介時の笑顔が忘れられません。ご冥福をお祈りいたします。

IMは、大過なく全体の行事を終えることが出来ましたが、すさまじい新型コロナの感染拡大の中です。川嶋ガバナーの言われるように、我々ロータリアンこそが、リーダーシップを発揮し会社に地域に貢献してまいりましょう。以上でIMの報告とさせていただきます。



### 国際ロータリー第2550地区3月会員増強・出席報告

区分	クラブ名	例年数	出席率			会員数							40歳未満
			3月	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員		
第1グループ	大田原	0	0.00	26	29	0	0	3	0	3	1	0	
	黒磯	0	0.00	37	37	0	0	2	2	0	2	1	
	西那須野	0	0.00	50	47	0	3	1	4	-3	2	0	
	黒羽	3	91.67	8	8	0	0	0	0	0	0	1	
	大田原中央	0	0.00	22	24	0	0	2	0	2	1	2	
第2グループ	烏山	3	70.36	17	18	0	0	1	0	1	2	0	
	氏家	1	70.83	24	25	0	0	1	0	1	2	0	
	矢板	4	69.10	12	14	0	0	2	0	2	2	0	
	馬頭小川	4	91.00	21	21	0	0	0	0	0	0	0	
	高根沢	2	76.00	15	16	0	0	1	0	1	0	0	
第3グループA	宇都宮	0	0.00	101	104	1	5	10	7	3	1	2	
	宇都宮西	0	0.00	80	80	0	1	3	3	0	0	2	
	宇都宮北	0	0.00	43	43	0	1	3	3	0	0	0	
	宇都宮90	0	0.00	46	46	0	1	1	1	0	6	1	
	(宇都宮90結・衛星)	0	0.00	5	5	0	0	0	0	0	3	2	
第3グループB	宇都宮陽北	0	0.00	38	40	0	0	3	1	2	8	7	
	宇都宮東	0	0.00	123	124	0	0	3	2	1	0	2	
	宇都宮南	0	0.00	53	53	0	0	5	5	0	2	2	
	宇都宮陽東	0	0.00	55	55	0	0	1	1	0	10	2	
	宇都宮陽南	0	0.00	27	30	0	0	3	0	3	9	5	
第4グループ	宇都宮さつき	4	46.42	27	28	0	0	2	1	1	4	4	
	真岡	0	0.00	61	63	0	0	4	2	2	0	2	
	益子	1	80.00	30	30	0	0	0	0	0	2	0	
	真岡西	0	0.00	36	38	0	1	4	2	2	6	1	
	しもつけ	1	84.00	26	25	0	0	0	1	-1	6	1	

区分	クラブ名	例年数	出席率			会員数							40歳未満
			3月	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員		
第5グループ	小山	4	93.00	26	24	0	1	1	3	-2	2	0	
	小山南	2	83.35	16	16	0	0	0	0	0	3	0	
	小山東	2	89.60	21	24	1	0	4	1	3	1	0	
	小山北	2	70.00	20	22	0	0	2	0	2	0	3	
	小山中央	2	72.00	25	25	0	0	0	0	0	2	0	
第6グループ	栃木	1	64.30	46	48	0	0	3	1	2	3	0	
	栃木西	4	79.05	30	32	0	0	3	1	2	1	0	
	岩舟	3	91.70	11	12	0	0	1	0	1	0	0	
	壬生	0	0.00	19	19	0	0	0	0	0	2	0	
	栃木南	2	71.21	34	36	0	0	2	0	2	6	1	
第7グループ	日光	4	70.59	21	21	0	0	0	0	0	4	0	
	鹿沼	1	77.58	58	62	0	0	5	1	4	2	4	
	今市	0	0.00	44	44	0	1	2	2	0	1	1	
	鹿沼東	0	0.00	37	38	0	0	1	0	1	3	0	
	鹿沼中央	2	66.67	18	18	0	0	0	0	0	2	0	
第8グループ	今市さぬ	4	95.37	26	27	0	0	2	1	1	0	0	
	足利	0	0.00	35	34	0	0	1	2	-1	0	1	
	足利東	0	0.00	45	44	0	0	1	2	-1	6	0	
	足利西	0	0.00	11	11	0	0	0	0	0	0	0	
	足利わたらせ	2	81.26	32	33	0	0	1	0	1	0	0	
第9グループ	佐野	3	77.80	57	57	0	0	0	0	0	0	0	
	葛生	3	89.10	41	40	0	0	1	2	-1	0	0	
	田沼	1	87.80	43	42	0	0	0	1	-1	0	0	
	佐野東	2	85.50	21	22	0	0	1	0	1	2	0	
	48RC			1732	1754	2	14	86	52	34	109	47	

### 国際ロータリー第2550地区4月会員増強・出席報告

区分	クラブ名	例年数	出席率			会員数							40歳未満
			4月	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員		
第1グループ	大田原	1	82.14	26	29	0	0	3	0	3	1	0	
	黒磯	0	0.00	37	37	0	0	2	2	0	2	1	
	西那須野	0	0.00	50	47	0	0	1	4	-3	2	0	
	黒羽	2	87.50	8	8	0	0	0	0	0	0	1	
	大田原中央	0	0.00	22	24	0	0	2	0	2	1	2	
第2グループ	烏山	1	100.00	17	18	0	0	1	0	1	2	0	
	氏家	0	0.00	24	25	0	0	1	0	1	2	0	
	矢板	1	69.50	12	14	0	0	2	0	2	2	0	
	馬頭小川	3	91.00	21	21	0	0	0	0	0	0	0	
	高根沢	0	0.00	15	16	0	0	1	0	1	0	0	
第3グループA	宇都宮	0	0.00	101	106	3	1	13	8	5	1	2	
	宇都宮西	0	0.00	80	80	0	0	3	3	0	0	2	
	宇都宮北	0	0.00	43	43	0	0	3	3	0	0	0	
	宇都宮90	0	0.00	46	47	1	0	2	1	1	6	1	
	(宇都宮90結・衛星)	0	0.00	5	5	0	0	0	0	0	3	2	
第3グループB	宇都宮陽北	0	0.00	38	40	0	0	3	1	2	8	7	
	宇都宮東	0	0.00	123	124	0	0	3	2	1	0	2	
	宇都宮南	0	0.00	53	53	0	0	5	5	0	2	2	
	宇都宮陽東	0	0.00	55	55	0	0	1	1	0	10	2	
	宇都宮陽南	0	0.00	27	30	0	0	3	0	3	9	5	
第4グループ	宇都宮さつき	0	0.00	27	28	0	0	2	1	1	4	4	
	真岡	0	0.00	61	63	0	0	4	2	2	0	2	
	益子	0	0.00	30	30	0	0	0	0	0	2	0	
	真岡西	0	0.00	36	38	0	0	4	2	2	6	1	
	しもつけ	1	68.00	26	25	0	0	0	1	-1	6	1	

区分	クラブ名	例年数	出席率			会員数							40歳未満
			4月	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員		
第5グループ	小山	3	93.30	26	25	1	0	2	3	-1	2	0	
	小山南	1	73.30	16	16	0	0	0	0	0	3	0	
	小山東	1	100.00	21	24	0	0	4	1	3	1	0	
	小山北	1	45.00	20	22	0	0	2	0	2	0	3	
	小山中央	0	0.00	25	25	0	0	0	0	0	2	0	
第6グループ	栃木	0	0.00	46	48	0	0	3	1	2	3	0	
	栃木西	0	0.00	30	31	0	1	3	2	1	1	0	
	岩舟	0	0.00	11	12	0	0	1	0	1	0	0	
	壬生	0	0.00	19	19	0	0	0	0	0	2	0	
	栃木南	0	0.00	34	36	0	0	2	0	2	6	1	
第7グループ	日光	2	86.49	21	21	0	0	0	0	0	4	0	
	鹿沼	0	0.00	58	62	0	0	5	1	4	2	4	
	今市	0	0.00	44	43	0	1	2	3	-1	1	1	
	鹿沼東	0	0.00	37	38	0	0	1	0	1	3	0	
	鹿沼中央	0	0.00	18	18	0	0	0	0	0	2	0	
第8グループ	今市さぬ	0	0.00	26	27	0	0	2	1	1	0	0	
	足利	0	0.00	35	34	0	0	1	2	-1	0	1	
	足利東	0	0.00	45	44	0	0	1	2	-1	6	0	
	足利西	1	72.73	11	11	1	1	1	1	0	1	0	
	足利わたらせ	0	0.00	32	36	3	0	4	0	4	0	0	
第9グループ	佐野	0	0.00	57	57	0	0	0	0	0	0	0	
	葛生	0	0.00	41	40	0	0	1	2	-1	0	0	
	田沼	1	100.00	43	42	0	0	0	1	-1	0	0	
	佐野東	1	86.00	21	22	0	0	1	0	1	2	0	
	48RC			1732	1759	9	4	95	56	39	110	47	

### ガバナーノミニー・デジグネート確定宣言

国際ロータリー第2550地区ガバナー **川嶋 幸雄**  
2020-21年度ガバナー指名委員会委員長 **太城 敏之**

2022-23年度ガバナー候補者の推薦期間を、2019-20年度ガバナー月信第4号で公示しましたが、2019年11月30日の締め切りまでに候補者の推薦は有りませんでした。

2020年5月25日、地区ガバナー指名委員会は、RI細則12.020に基づき、宇都宮陽東ロータリークラブ会員 佐貫直通君を2019-20年度ガバナーノミニー・デジグネート（2022-23年度ガバナー）に指名いたしました。

よって、佐貫直通君を「2019-20年度 国際ロータリー第2550地区ガバナーノミニー・デジグネート」として正式に確定致しました事を茲許宣言いたします。



さぬき なおみち  
**佐貫 直通 氏**

#### 【略歴・経歴】

生年月日 1951年5月29日  
所 属 宇都宮陽東ロータリークラブ  
職業分類 歯科医  
勤 務 先 佐貫歯科医院 院長

#### 【ロータリー歴】

1993年4月 宇都宮陽東RC入会(チャーターメンバー)  
1995-96年 クラブ幹事  
2001-02年 クラブ会長  
2014-15年 第3グループBガバナー補佐  
2015-20年 地区ロータリー情報委員長  
2020年5月26日クラブ宛報告済

### 新入会員

**岡田 理**  
足利わたらせ RC  
(株) Michelle 代表取締役  
2020年4月2日入会  
よろしくお願致します。

**藤崎 真人**  
足利わたらせ RC  
老人保健施設 グリーンヒルズ 施設長  
2020年4月2日入会  
よろしくお願致します。

**清水 雅巳**  
足利わたらせ RC  
(株)足利城 代表取締役  
2020年4月10日入会  
よろしくお願致します。

**平出 宣幸**  
宇都宮 RC  
社会保険労務士法人 平出事務所 社会保険労務士  
2020年4月16日入会  
分からないことも多々ございますので、よろしくお願致します。

**柴崎 忠勝**  
宇都宮 RC  
栃木信用金庫常務理事 宇都宮営業部 部長  
2020年4月17日入会  
奉仕の精神でがんばりたいと存じます。よろしくお願致します。

## 物故会員

## 訃報 ご冥福をお祈りいたします



たか せ じ こ う  
高瀬 時 康  
2020年4月3日逝去(享年89歳)  
1996年7月2日入会

(栃木西 RC)

ロータリー歴

2001年 地区国際奉仕委員  
2003年 クラブ会長  
2005年 SAA  
2007年 プログラム委員長  
2011、2018年 国際奉仕委員長  
2014年 情報委員長

寄付歴

ベネファクター  
マルチポールハリスフェロー 4回  
準米山功労者(法人)



お ぐ り お さ む  
小 栗 理  
2020年3月26日逝去(享年71歳)  
1989年1月1日入会

(今市 RC)

ロータリー歴

2002-2003年 親睦委員長  
2003-2004年 プログラム委員長  
2004-2005年 副会長  
2005-2006年 会長  
2008-2009年 会員組織委員長  
2009-2010年 職業奉仕委員長  
2010-2011年 職業奉仕委員長  
2012-2013年 地区会員組織委員

寄付歴

マルチポールハリスフェロー 3回  
米山功労者 5回



か た や ま た か ゆ き  
片 山 貴 之  
2020年4月30日逝去(享年51歳)  
2010年1月13日入会

(今市 RC)

ロータリー歴

2011-2012年 会計  
2012-2013年 ロータリー家族委員長  
2013-2014年 SAA  
2014-2015年 幹事  
2016-2018年 副会長  
2018-2019年 会長エレクト  
2019-2020年 会長  
2017-2020年 地区例会プログラム委員

寄付歴

ポールハリスフェロー  
米山功労者

## インフォメーション

## 2020-21 年度クラブ例会プログラム委員長交代のお知らせ

片山貴之 20-21 年度クラブ例会プログラム委員長のご逝去にともない、  
委員の五十嵐稔也様が委員長に就任いたします。

## 大田原ロータリークラブ 例会場・事務所変更のお知らせ

2020.7.2 ~

新例会場・事務所 ホテル花月 大田原市黒羽向町 2 ☎0287-54-1105

(例会曜日・時間の変更はございません。)

## 青少年交換学生の帰国状況 (6月1日現在)

## OUTBOUND 全員帰国

岡本 圭太・今井 悠太・長峰 聖良・佐藤 颯音・兵藤かほる・高瀬なつの  
以上の青少年交換学生全員の帰国が確認できております。

## INBOUND 全員帰国

Michele Struglia・GALEA, Lucie Pascale Andree・Kelly Delgado-Chacon  
Caleb Nabors・Kao Tzu Chun・PHITCHAKORN LERTRUJIKUL  
以上の青少年交換学生全員の帰国が確認できております。



## ロータリー文庫通信 382号 2020年4月 新型コロナウイルス禍の下で

新型コロナウイルス感染の拡大はロータリー活動に多大な影響を与えています。ハワイでの世界大会は中止となりました。国内においても、PETSや地区大会の中止を余儀なくされました。その中で、特に「幻の講演」となったD2650地区大会RI会長代理の鳥居PDGの「RI現況報告」を掲載します。

また「緊急事態宣言」により、外出の自粛を要請され在宅時間が多くなり、ロータリーについて考える機会が与えられました。そこで今回は、115年を超えるロータリーの歴史の中で、ロータリーの奉仕哲学とその奉仕の実践に関する基本原理を簡明かつ的確に表現している「決議23-34」について、更に、国際ロータリーという組織の本質は何かを考える意味で、2019年規定審議会でも事務総長に与えられた「CEO(最高経営責任者)」という名称が何を意味しているかについて、考えていただければと思います。

書名	著者/出版社	発行年	頁	※
RI現況報告「ロータリーの変遷と本質」 (D2650地区大会 RI会長代理)	鳥居 滋 / 岡山東RC D2690PDG	2020	13P	※
決議 23-34 はロータリーのキイ・ポイント である (増補改訂版 関西ロータリー研究会)	末積 正 / 神戸RC D268	1987	125P	※
決議 23-34 歴史的背景と意味 (D2680 職業奉仕講演会) (P.P.T.174 枚)	刀根 荘兵衛 / 敦賀RC D2650PDG	2018	17P (29P)	
CEOとして最強の権限を与えられた事務総長 (追加資料提供: D2650PDG刀根荘兵衛)	田中 毅 / 尼崎西RC D2680PDG	2020	4P (13P)	※

● 上記 ※印はデジタル化されている資料です。

資料の検索は文庫ホームページから <http://www.rotary-bunko.gr.jp>



# コーディネーター NEWS

2020年5月号

発行：Region 1 & 2 & 3  
ロータリーコーディネーター  
ロータリー公共イメージコーディネーター

## 「緊急事態宣言」のもとで

COVID-19 感染者の急激な増加により、4月7日に7都府県に「緊急事態宣言」が出されました。この緊急事態宣言の発動が少し遅いかも知れませんが、国民一丸となって取り組まないと終息が見えてきません。

中国から始まりヨーロッパに続いてアメリカ更には南米やアフリカと地球全域へと感染拡大です。このような状況下で、日本各地のロータリークラブ・ロータリアンは2月ないし3月から活動を自粛しており、3月・4月の例会や地区の行事も延期・中止が続いております。恐らく5月も活動再開が難しく、ハワイでの国際大会が行われなくなった事からも6月の活動も厳しい状況です。

国民の生活が一変した未曾有のパンデミック真只中で、各自の生活を守るための行動が最も大切であり、夫々の事業や家族を守る事に全力投球が続く状況下において、例会に参加してロータリー生活を楽しんでいた生活習慣がこの2月～3月から活動自粛により崩れ、ロータリーから心が離れ退会に向かう会員が出てくる可能性が多いに有ります。

各クラブの会員同士が連絡を取り合ってつながりを保ちましょう、そして地域社会への奉仕する方法を探しましょう。

更にはスカイプ、Zoom、GoToMeetingなどのオンラインツールを活用して例会を開くことも可能です。各クラブでオンライン例会にもチャレンジしてつながりを保ち続けましょう。その際にはロータリーのウェブサイトで、オンライン例会を開催するためのヒントやアイデアをご覧ください。

日常生活に追われ頭の中からロータリーが消えかかっている会員の為にも、日本中のクラブ会長さんを筆頭に多くのロータリアンが「ロータリー情報・・・心に留まる情報」を各会員に発信し続け、各会員に「自クラブとロータリー」を頭の中に留めさせて下さい。必ずこのCOVID-19によるパンデミックは終息し、楽しいロータリー活動が戻ってきます。

各自のロータリー活動を見直し近い将来の活動を思い描きながら、ロータリー情報を発信しつながりを保ち続けましょう！

第2地域ロータリーコーディネーター補佐 **松坂 順一**（東京葛飾東 RC）



# コーディネーター NEWS

2020年6月号

発行：Region 1 & 2 & 3  
ロータリーコーディネーター  
ロータリー公共イメージコーディネーター

## ロータリーのリーダーシップと最新の経営理論

ロータリーの「中核的価値観」の1つに「リーダーシップ」が「戦略計画」と共に掲げられて久しい。しかし、その意味について共通の理解があるのだろうか。人によって「リーダー」や「リーダーシップ」についてのイメージや意味するところが違うのは当然として、時代の変遷によってそのありように変化があり、新たに求められるものがあるかもしれない。一昔前は「カリスマ的リーダー」が典型的なリーダー像であったように思う。「秀でた特殊な能力や専門的知識などの個人的魅力」で影響力を発揮するタイプである。その場合は大抵「リーダー→フォロワー（部下）」という垂直的な縦の関係がある。ところで、ロータリーにおいてその垂直的なリーダーシップのみで良いのだろうか。

時にそのようなリーダーシップも必要であろうが、優れた経営者や専門職が集うロータリーにおいて様々な役割や場面に応じて、一人ひとりがやはりリーダーなのである。近年、リーダーシップについて、経営学で主流となってきた理論に「シェアード・リーダーシップ（SL）」という考え方があり、「グループの複数の人間、時には全員がリーダーシップを執る」とする考えだ。水平関係のリーダーシップということができる。これからの不確実性の時代のリーダーシップ論としてこの理論が注目されているようだ。

ロータリーにおいて、1人ひとりがリーダーであるならば、当然1人ひとりに「ビジョン（軸）」が求められる。地区やクラブのビジョンもさることながら「自分のビジョンは何か」、「自分は何者で、何をしたいのか」がすべてのロータリアンに求められる。何故なら、どのような団体であっても個人の集合体に他ならないからだ。近年の実証研究では、「従来型の垂直的リーダーシップよりも、SLの方がチーム成果を高める」とい結果が多く示されている。SLにおいて重要なのは十分な「対話（ダイアログ）」である。対話によって個々人の「知」が活かされる。「新しい知は既知の知と既知の知の新しい組み合わせ」から生まれる。

近年の経営理論におけるリーダーシップの定義は「グループ内のある人が他のメンバーのモチベーション・能力を修正する時、それをリーダーシップという」である。「修正する時」とは、あくまで心理的に「他者に変化をもたらす」ことを指す。この場合リーダーとは「変化」を与える人、すなわち他者に「影響力」を与えることを指す。「私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」。ロータリーの新しい「ビジョン声明」である。いま正に私たちは「持続可能な良い変化をもたらす」ために個人としての「ビジョン（軸）」をしっかり持ち、「リーダーシップ」を発揮しなければならない。

第2地域ロータリー公共イメージコーディネーター **柳生 好春**（野々市 RC）

※早稲田大学大学院教授 入山章栄著「世界標準の経営理論」に大きく依った。

## COVID-19による「緊急事態宣言」のなかで思うこと

ロータリー年度末を迎えるにあたり、ロータリーを前進させるための各地でのご尽力に、心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスが蔓延するなか、ロータリークラブの活動や事業活動に懸命に取り組んでおられる皆様に心からの御見舞いと敬意を表します。前途多難な社会状況ですが、閉塞感打破に向け、共に頑張りたいと思います。

新型コロナウイルスはいつ、誰が感染してもおかしくない中で、自らが罹らないこと、そして不運にも感染した時は、他の人達にうつさないようにすることが、ロータリアンとしての社会的責任でしょう。

政府の緊急事態宣言により、外出を極力控えるように強く要請され、在宅ストレスがたまっていると思います。ストレスの発散方法や免疫力アップに効果がある食材等の情報が数多く発信されていますので、参考にして遊び心を忘れずに「離れて繋がる」ことを心がけましょう。

3月以降、ロータリーはクラブ・地区ともに例会・行事・セミナーや奉仕活動などを中止・延期されたと思います。一方でこの間に、ビデオ・インターネット・WEB等を使用した、これまでと違った方法で開催された活動も多くあるのではないのでしょうか。ご苦労はあったでしょうが、今後のクラブや地区の運営に活かされることでしょうか。

日本は災害列島と言われ、毎年のように自然災害が発生します。その上に今回のパンデミックが起きました。

ウィルス性感染症は20世紀に8回（1918年のスペイン風邪では、世界中で多くの死者が出ました。）、21世紀に入りすでに3回も発生し、努力と知恵によって克服してきています。

各種ある危機の中で、最も死者が多いのがウィルス性感染症です。人は平常に戻ると、すぐに忘れるものです。目の前の敵と闘いながら、風化しないうちにこの経験を活かし「次に備える」ことが重要です。

ウィルス性感染症は不幸なことにこれからも必ず発生するでしょう。今回の新型コロナウイルスも、必ず克服し、「次への備え」によって、社会の発展に繋がることと、確信しています。人が集まって行う奉仕活動がほとんど不可能な中でも、ロータリアンとロータリークラブができることは多くあります。草の根的な活動ですが、コロナと闘っておられる人達にエールをおくったり、困っている人達に支援の手を差し伸べたりすることはできるでしょう。

インターネットやWEB等を使った動画の発信によって、人々を「ワクワクドキドキ」させ、感動と希望を与えることができます。また、自らとロータリーファミリーが実施している素晴らしい奉仕活動を、家族・友人・知人に話すことやクラブや地区のホームページと My ROTARY に投稿することができます。

周囲の人達にロータリーの奉仕活動を示し、語ることによって、ロータリーファミリーの絆を深め、公共イメージ向上にも繋がることとなります。「ひとりひとりが広報マン」を心がけましょう。

第3地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 **片山 勉**（大阪東 RC）

## 戦略計画についてのアンケート結果

第3地域におきましては2019年に引き続き、現ガバナーエレクト（'20～'21年度 DG）にお願いし「戦略計画についてのアンケート」を行いました。今年は第1地域、第2地域でもほぼ同様のアンケートを行いました。新型コロナ感染拡大によりロータリー各種会合が延期、或いは中止となり、皆様方にアンケート結果をご報告をする機会がございませんが、近い将来人間の英知、ロータリアンの結束力でコロナ禍を克服した暁には、日本の34地区・全国のクラブの「戦略計画に対する取り組みの現状」を皆様方にお示しできるものと思います。

2019年では11地区中1地区に地区戦略計画委員会（地区ビジョン委員会）の設立がありませんでしたが、2020年では全ての地区に設立されていました。しかし、3地区では未活動との返答を戴きました。地区ビジョン、或いは地区中期目標を策定している地区は7/11（2019年5/11）、検討中は3/11（2019年2/11）、未決定は1/11（2019年3/11）と多くの地区でそのビジョンを掲げ活動をされています。地区ビジョンの必要性が浸透してきている結果であると推察できます。

クラブ戦略計画（ビジョン）委員会設置については、最も多い地区は82.5%、次いで78.1%、73.8%、69.3%、50%、39.4%、25.4%、16%の順でした。残る3地区は設置をしているクラブもあるが実態を把握していない、との回答でした。昨年末確認の地区が2地区ありましたが、今回は3地区となっています。先にパーセンテージを示した8地区は全ての地区でクラブ内での委員会設置数が増えています。

地区内各クラブはクラブのビジョン、或いは中長期目標を決めているか？との問いについては、それぞれの地区内クラブで85%、47%、40%、37%、36%、31%、7%、3%の割合でクラブの進むべき方向を決め、活動をされています。各クラブでのご努力に感謝を申し上げます。この項では、昨年より方針を策定しているクラブが減っている地区が見受けられます。

ロータリーの単年度制から脱却し、持続性を持ったクラブ運営を行うために、是非クラブ内で再討議をして戴きたく存じます。なお、3地区が未確認との回答でした。

国際ロータリーが地区・クラブの活性化のために、2002年にDLP（地区リーダーシッププラン）を、2004年にはCLP（クラブリーダーシッププラン）を推奨致しました。その後、2007年にStrategic Plan（長期計画）、2010年にはStrategic Plan（戦略計画）を打ち出し地区・クラブの活性化・会員増強を持続的に推進するように働きかけました。また、ロータリークラブの特性である単年度制を考慮しつつ、持続性のある即ち数年後を見据えた地区・クラブの目標・ビジョン・活動計画を考えることを推奨しました。

今回の結果から、地区、そして多くのクラブにおいて、それぞれのビジョン或いは戦略計画を立案し、実践することの必要性・重要性を認識されつつある、と考えられます。

地区・クラブ戦略計画（ビジョン）委員会を有用に活用され、地区・クラブの活性化・会員基盤向上・会員増強にご努力されることをお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染もやや衰えを見せつつありますが、第2波・第3波の襲来が必至と思われます。油断をせず感染予防に万全の措置を執りながらロータリー活動を続けられますことを祈念申し上げます。

第3地域ロータリーコーディネーター **高島 凱夫**（大阪中之島 RC）



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライトよねやま

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>

241号

## 4月のピックアップ記事

### 新型コロナウイルス感染拡大の中で迎える新学年度

4月から新学年度が始まりました。

4月7日、新型コロナウイルスの全国的な感染拡大を受け、7都府県に緊急事態宣言が発令されたことから、当会では翌8日付で、2020学年度の新規奨学生および継続奨学生に対し、「挨拶ならびに大切なお知らせ」として、現在の状況説明、今後守るべき諸注意事項などをホームページに掲載すると共に、各人にメールで送信しました。

例年、4月に各地区で開催される米山奨学生のオリエンテーションについては、4月13日現在、中止が16地区、延期が11地区となっており、開催する場合も分散して小規模にと、「3蜜」を避けての実施が徹底されています。

オリエンテーションは、新しくロータリーファミリーの一員となった米山奨学生を歓迎すると同時に、米山奨学生としての責務を確認してもらう重要な機会ですが、感染拡大防止を第一にさまざまな形を工夫し、各地区、世話クラブで奨学生へのケアにご尽力いただいておりますことに、あらためて感謝申し上げます。

平時とは異なるスタートですが、新学年度の米山奨学生をどうぞよろしくお願いいたします。



第2770地区では窓を開放し4回に分けて開催

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。→ [http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight241\\_pdf.pdf](http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight241_pdf.pdf)



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライトよねやま

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>

242号

## 5月のピックアップ記事

### 第4代よねやま親善大使が決定！

「第4代よねやま親善大使」には26人の学友から応募があり、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考の結果、下記3人の方に決定しました。任期は2020年7月から2年間で、日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事でのスピーカーとしてぜひお声掛けください。親善大使に関するご連絡は当会事務局広報担当まで。



**カレン・ジュリア・ウォータース**  
(オーストラリア/1992-94/京都南RC)

㈱Global Waters代表取締役社長、Burleigh Heads RC(第9640地区)会員。自らの事業では、日本の子どもたちへの国際理解教育と奉仕の心を育てることに尽力。2019年度より第2650地区米山学友会会長。



**アドゥアヨム・アヘゴ, アクエテビ**  
(トーゴ/2014-15/新発田城南RC)

㈱ドリーム・ジーピー 研究員。アフリカで不足する義肢装具の開発研究に尽力。日本の義肢中古部品を活用した義肢をアフリカに提供する活動も。自ら手がけた義肢で東京パラリンピックにトーゴの選手を出場させる夢が進行中。



**李昱昊 (リ イッコウ)**  
(中国/2016-17/東京銀座RC)

法律事務所にて国際法務に従事し、海外に進出する日本企業をサポートする一方、日中交流団体代表として両国の若者の交流促進に尽力。2018-20年度第2750地区米山学友会副会長、2019-20年度東京西RAC会長。

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。→ [http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight242\\_pdf.pdf](http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight242_pdf.pdf)



## あとかき

昨年7月より1年間、ガバナー月信をご購読頂きありがとうございました。昨年、台風19号の豪雨災害のため11・12月合併号にさせて頂き、さらに今年になってからも新型コロナウイルスの影響で5・6月合併号とさせて頂きましたこと、大変申し訳ありません。ロータリーの友情に免じてお許し願います。また、大変お忙しい中、原稿の依頼に応じて頂いた方々に厚く御礼申し上げます。ガバナー事務所の方々にも手厚くご指導頂き、おかげさまで1年間務めあげることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

栃木ロータリークラブ ガバナー月信作成チーム一同